

8. 講演会

期 間 : 平成31年3月1日(金) 10時30分～16時00分
 会 場 : 東京都千代田区有楽町2-5-1 有楽町朝日ホール(有楽町マリオン11階)
 主 催 : 国立研究開発法人 建築研究所
 聴講者数 : 368名

プログラム

	10:30	開会		
●開会挨拶	10:35～	建築研究所	理事長	緑川 光正
○2018年北海道胆振東部地震による建築物等の被害調査報告	10:40～	材料研究グループ	上席研究員	槌本 敬大
○既存建築物の地震後継続使用のための耐震性評価技術の開発～熊本地震によるRC造建築物の被害を踏まえた検討～	11:10～	構造研究グループ	主任研究員	向井 智久
○水害リスクを踏まえた建築・敷地レベルの対策の評価	11:40～	住宅・都市研究グループ	主席研究監	木内 望
	12:10～	パネル展示の紹介		
	12:25～	昼休み (パネル展示)		
○BIM 確認申請の展開と課題	13:35～	建築生産研究グループ	上席研究員	武藤 正樹
○建築分野におけるドローン技術の動向と展望～ドローン活用における安全教育と技術の高度化～	14:05～	材料研究グループ	主任研究員	宮内 博之
○自然換気システムの評価・設計法の開発	14:35～	環境研究グループ	主任研究員	赤嶺 嘉彦
	15:05～	休憩		
●特別講演『Society 5.0 とデジタルビルド・ジャパン』	15:20～	早稲田大学名誉教授		尾島 俊雄
	16:00	閉会		

パネル展示 コアタイム (12:25～13:35)

2018年大阪府北部地震で被害を受けた塀を対象とした調査	構造研究グループ	主任研究員	渡邊 秀和
2018年北海道胆振東部地震による札幌市里塚地区の宅地被害	構造研究グループ	上席研究員	新井 洋
平成30年台風第21号に伴う強風による建築物等被害現地調査報告	構造研究グループ	グループ長	○奥田泰雄
日よけ効果係数算出ツールの開発と適用方法に関する検討	建築生産研究グループ	研究員	沖 佑典
設計実務者向け住宅用暖冷房負荷計算ツールの開発	環境研究グループ	主任研究員	西澤 繁毅
欧州の中高層木造建築をめぐる防火技術開発の動向と課題	環境研究グループ	主任研究員	三浦 尚志
消防活動支援に関する技術的知見の収集を目的とした実測調査	防火研究グループ	上席研究員	鍵屋 浩司
鉄筋コンクリート造建築物における鉄筋腐食抑制技術に関する研究	防火研究グループ	研究員	野秋 政希
定期報告制度における外壁調査の実施率向上のための診断技術	材料研究グループ	主任研究員	松沢 晃一
勾配変化部を有する鋼製下地吊り天井の力学性能に関する実験	建築生産研究グループ	上席研究員	眞方山美穂
建築部材部品の形状確認における3次元計測技術の活用に関する研究	建築生産研究グループ	研究員	沖 佑典
東京都総合設計制度によって生み出された公開空地の緑化状況調査	建築生産研究グループ	研究員	高林 弘樹
地域活性化に向けた医療・福祉施設等導入の可能性に関する研究	住宅・都市研究グループ	主任研究員	武田ゆうこ
中南米諸国に対する地震工学分野の国際貢献	住宅・都市研究グループ	研究員	今野 彬徳
国際地震工学研修の成果事例	国際地震工学センター	主任研究員	諏訪田晴彦
	国際地震工学センター	上席研究員	小豆川達哉